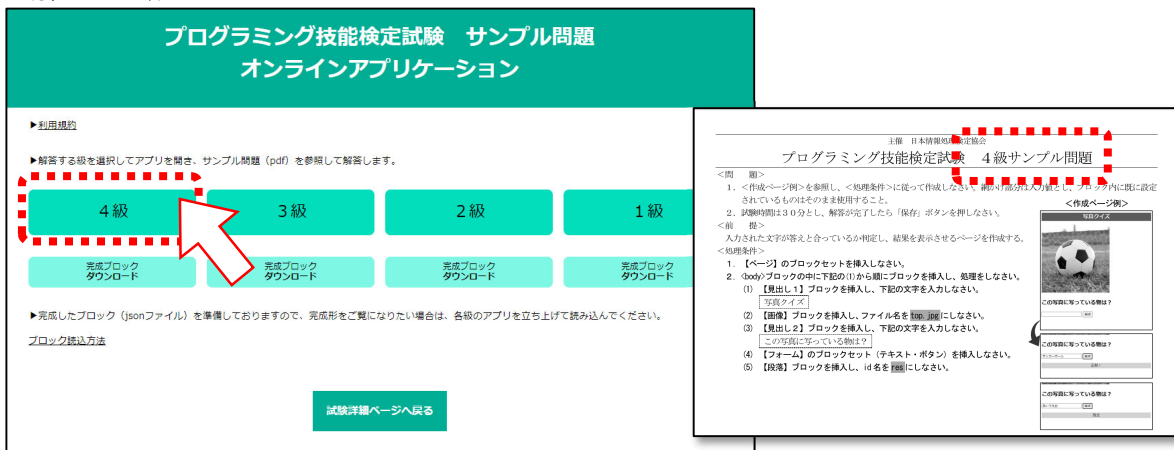


オンラインアプリケーション（サンプル問題）の使い方

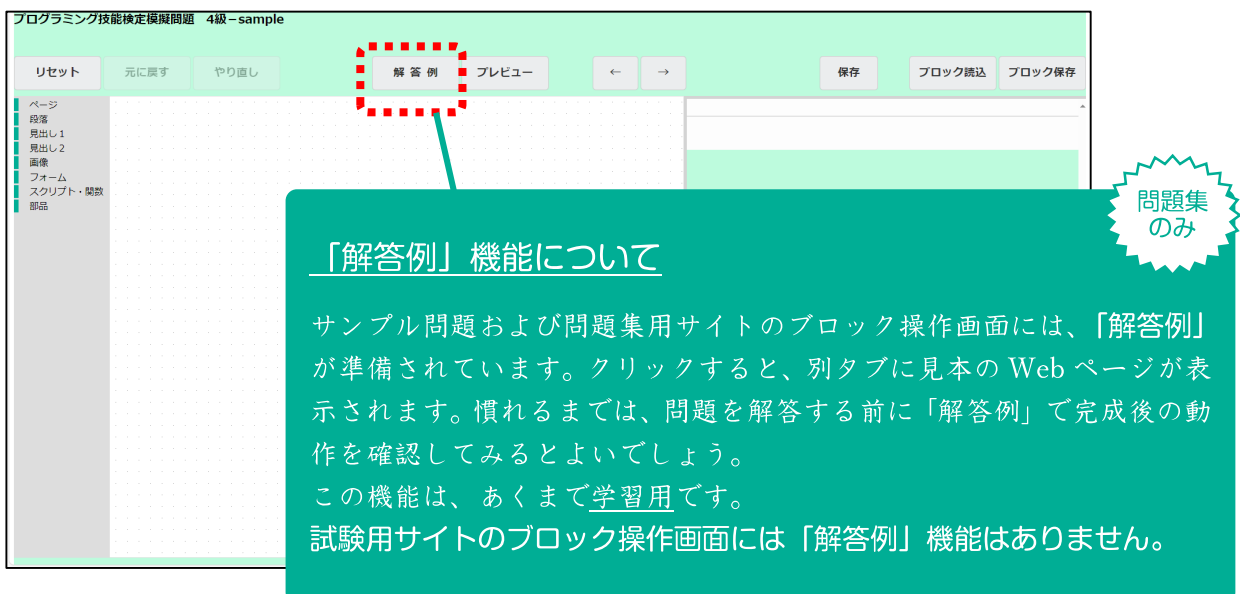
1. 当協会HPの「プログラミング技能検定試験」のご案内ページへアクセスし、「オンラインアプリ」をクリック。



2. 解答する級をクリック。



3. ブロック操作画面が表示される。問題文を見ながら処理条件どおりに解答を行う。



「解答例」機能について

サンプル問題および問題集用サイトのブロック操作画面には、「解答例」が準備されています。クリックすると、別タブに見本の Web ページが表示されます。慣れるまでは、問題を解答する前に「解答例」で完成後の動作を確認してみるとよいでしょう。

この機能は、あくまで学習用です。

試験用サイトのブロック操作画面には「解答例」機能はありません。

4. 処理が終わったら「プレビュー」をクリックし、作成ページ例と比較して表示・動作を確認する。

※各機能は機能一覧にて説明します。

5. 解答後、必要に応じて「保存」・「ブロック保存」を行い、解答結果を保存する。
 ※中断する場合は「ブロック保存」を行い、再開するときは「ブロック読込」をクリックし、保存しておいたファイル (json 形式) を読み込む。

保存 をクリックすると

html ファイル (作成した結果の Web ページ) がダウンロードされます。
 ※ファイル名には種目・級・問題番号が設定されます。
 ※css ファイルや画像などは指定したファイル名に保存先のパスが付加されて保存されます。ファイル名が正しければ、オンライン環境下で確認すると css が反映され、画像が表示されます。

試験用サイトのブロック操作画面における「保存」機能は、このダウンロード機能ではなく、解答データの一時送信機能となります。

ブロック保存 をクリックすると

json ファイルがダウンロードされます。
 これは作成したブロック情報の記録されたファイルです。
 ファイル名には種目・級・問題番号が設定されます。
 再度作成したブロックを操作する場合に、このファイルを読み込みます。
 該当の級・問題番号のブロック操作画面を開き **ブロック読込** をクリックします。

試験用サイトのブロック操作画面には、「ブロック読込」・「ブロック保存」機能はありません。

問題集のみ

機能一覧



機能名		機能
①	ブロックリスト	HTML・JavaScriptのブロックが準備されているエリア ここからブロックを挿入する（問題文に従って挿入・配置）
②	リセット	ブロック編集エリアに配置したブロックを全て削除
③	元に戻す	実行した操作を取り消す
④	やり直し	③元に戻す機能で取り消した操作をやり直す
⑤	解答例	解答ページを表示する（完成しているページで動きを確認）
⑥	プレビュー	作成した結果を表示する
⑦	エリア範囲切り替え	ブロック編集エリアとソース表示エリアの幅を変更する
⑧	保存	ブロックで生成されたソースコードを保存（html形式）
⑨	ブロック読込	ブロックファイル（json形式）を読み込む ※⑩の機能で保存したブロックを読み込んで再開することができます。 ※違う問題・級のブロックを読み込むとエラーになります。 ※ファイル名が保存時のものでない場合はエラーになります。
⑩	ブロック保存	作成中のブロックの状態をそのまま保存（json形式） ※作業を中断した際や結果を残しておきたいときに活用してください。 ※保存時のファイル名は変更しないでください。変更するとブロック読み込みができなくなります。ただし、保存時のファイル名の後ろに追加する場合にはその限りではありませんので、解答者の名前や日付などを後ろに追加して管理することをお勧めします。 ※複数保存するとファイル名の後ろに「(1)」などの番号が付きますが、それはそのままでも問題ありません。
⑪	位置合わせ	ブロックのある位置に合わせる
⑫	拡大・縮小	ブロック編集エリア画面の拡大・縮小
⑬	ゴミ箱	ブロックを捨てる ※ブロックを選択して「Delete」キーを押すまたはドラッグ&ドロップでゴミ箱に入れることで、ブロックが捨てられます。 ※ゴミ箱をクリックすると捨てたブロックが表示され、それをクリックすると、またブロック編集エリアに戻ることができます。